

h29.9/21

大田区立石川台中学校の部活動等について

<現状>

◇ 本校では少子高齢化が進んでいる。そのため十分な部活動ができない。

- ◆ 再任用教員は本校で再任用されるため現在教員 3 名が 60 代。

◇ 活動できなくなった部活動

- ◆ サッカー部（部員数の減少、顧問はいたが技術指導者不在）
- ◆ 野球部（部員数の減少）
- ◆ バスケットボール部男女（部員数の減少、指導者不在）
- ◆ バレーボール部女子（部員数の減少、指導者不在）
- ◆ 美術部（指導者不在） ◆ パソコン部（指導者不在）

教員構成		
	28年度	29年度
60代	2	3
50代	4	2
40代	1	2
30代	3	2
20代	1	2

生徒数(29年度)			
	男子	女子	計
1年	32	32	64
2年	43	19	62
3年	26	40	66
	101	91	192

◇ 現在の部活動

- ◆ 運動部 野球（3年生のみ） 陸上 硬式テニス 卓球 バドミントン
- ◆ 文化部 吹奏楽 演劇 電気工作

<対策>

◇ 部活動の存続をかけた取組（25年度から）

- ◆ 外部の団体と合同で行う サッカー部 生徒の充実感がなくなり不調に終わる。
- ◆ 4時5時部活動 4時から5時のみ教員が管理し、5時から外部指導者に指導を委ねる。外部指導者が高齢で威圧的 不調。
- ◆ 外部の指導者の活用 指導者が協力的な部活動が継続できている。

◇ 部活動と顧問のミスマッチ

- ◆ サッカーの指導ができる教員、バレーボールの指導ができる教員、バスケットボールの指導ができる教員がいても部が無い。
- ◆ 指導できる教員がいるスポーツについて、生徒に放課後の活動をさせたい。
水曜日の放課後に部活動に代わるスポーツの時間を設定する。（4時から5時程度）
28年度に実施したスポーツは、サッカー、バスケットボール、キンボール等。
※上記はスーパーアクティブスクール校の指定を受けたので、報償費を使い、指導の補助者を確保することができた。また、門戸は全生徒に開いた。指導は教員があたる。

◇ 部活動以外のスポーツ活動

- ◆ 図書準備室にエアロバイクを置き、運動が苦手な生徒でも昼休みに活用できるようにした。
- ◆ 全校で取り組むスポーツ活動（水泳大会、パラスポーツ体験、オリンピックとの交流によるバスケットクリニック、オリンピックムーブス、ミニムーブス）を実施した。

全国体力合計点の差(全国一学校)

男子		女子	
28年1年生	2.8	28年1年生	4.1
29年2年生	4.3	29年2年生	1.5
28年2年生	-1.1	28年2年生	6.6
29年3年生	2.3	29年3年生	5.4

◇ 成果

- ◆ 保健室の利用が減少した。
- ◆ 全国体力合計との差においては女子に向上が見られたが、男子には見られなかった。

◇ その他

- ◆ 地域の活動に励む生徒 硬式野球、サッカー、バトン、チア、フィギアスケート、体操、クラシックバレエ、舞踊、ダンス、薙刀、(華道、ヴァイオリン) 等